

<p><b>事業概要</b></p>	<p>諏訪広域地域で、地域の特徴を活かし、自立できる循環共生圏の実現を事業目的とする。そのため、以下の活動を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で消費するエネルギーを自給自足する事業を構築</li> <li>2. 多様なビジネスと雇用を創出</li> <li>3. 災害に強い街づくり</li> </ol> <p>また、魅力ある街となるべく、既に始まった新しい時代の社会構造「地域循環圏とSociety5.0」の導入を進めるため、当団体が 地域内外の幅広い情報と人材を集めるプラットフォームとしての役割を果たす。更に、各分野での計画立案の支援から事業化までを支援する活動を進める。諏訪広域地域の特性に合った取り組みを進め、地域が持続可能で強靱な基盤を持ち、地域が自立できる循環共生圏を実現させることを事業概要とする。</p> <p>▽関連するSDGsの項目</p> <p>2. 飢餓をゼロに 3.すべての人に健康と福祉を 4.質の高い教育を 7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8.働きがいも経済成長も 9.産業と技術革新の基盤をつくろう 11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任つかう責任 13.気候変動に具体的な対策を 15.陸の豊かさも守ろう 16.平和と公正をすべての人に 17.パートナーシップで目標を達成しよう</p> 
<p><b>部署</b></p>	<p>事務局</p>
<p><b>所在地</b></p>	<p>〒391-0003 長野県諏訪市高島1丁目4番地17</p>
<p><b>連絡先</b></p>	<p>(電話番号)0265-54-0281 (E-mail)ootsuka@suwa-inv.org</p>
<p><b>環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像</b></p>	<p>諏訪広域圏の豊かな自然と資源の優位性を活かし、次世代型管理システム(ICT)の導入を行いエネルギーと地域との関係を可視化する仕組みを確立し持続可能な体制を構築することにより事業創出と雇用創出を生み出し、経済的な自立を目指す。また、CO2削減・環境・文化・ライフスタイルの向上を図り、財政・経済・防災などにおいて強固な社会基盤を実現と地域循環共生圏を構築する。</p>

ローカルSDGsの実現  
に貢献できるソリュー  
ション

分野

エネルギー／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／交通

◆地域の資源で地域内消費エネルギーを創出し運用

[有機廃棄物活用]

- 森林間伐材、建設木質廃材、廃プラ等の有機廃棄物、食物残渣等による燃料化
- 農業残渣、食品廃棄物等の分別の上燃料化・肥料化・飼料化
- 酪農家畜糞尿の燃料化・畜産敷料化
- 廃棄家畜の肥料化
- 下水汚泥の燃料化

[電気エネルギー]

- 地域資源で生み出した燃料による発電所の企画立案及び総合的なコーディネート。
- 分散電源として、太陽光発電&蓄電池などを活用したまちづくり提案
- 天候依存の大きな再エネ電源をICT活用による需給調整&管理に関する提案
- 先端技術のOPV(透過型有機薄膜太陽光発電)を電源とした次世代農業、各種産業、生活スタイルの変革、防災対策などの幅広いへの技術提供

[熱エネルギー]

- 地域資源を燃料とするバイオマスボイラーや薪での熱エネルギー化
- 太陽熱や温泉熱及び地中熱などの再生熱エネルギーを活かした熱源及び畜熱システムの提供

[エネルギー運用]

- 地域エネルギー事業所を設立し、地域で作られた電気を集約し地域内へ供給
- 長期停電及び災害時の緊急時のエネルギー供給網の構築
- ライフラインとなるエネルギー運用による地域住民付加価値サービスを提案

[蓄電池]

- 地域資源で生成した電気を身近で役立つ電源となる蓄電池の供給
- 日常的にも利用できる持ち運び可能な電源の普及を促し、非常時に集約し大きな電源として活用できる仕組みの構築

[廃棄物の燃料化及び再資源化次世代型の脱炭素化]

- 水熱分解の亜臨界水設備の供給
- 急速発酵乾燥プラントの供給
- 微生物乾燥装置の供給
- 廃棄物処理の設備導入の適正処理の提案
- 廃棄物の回収循環ICTシステムの供給

ローカルSDGsの実現  
に貢献できるソリュー  
ション

## ◆地域循環共生圏とSociety5.0見据えた多様なビジネス創出と新しい社会基盤の実現

## [農業]

- ソーラーシェアリング＝太陽光発電との共存農地
- ソーラーマッチング＝光合成する周波数帯の透過型薄膜太陽光電池の供給
- 地域資源を燃料とする再生可能熱エネルギー利用による農業者の育成

## [モビリティ]

- 再エネ電源インフラでゼロカーボン社会の早期実現に向けた企画立案
- 再エネを搭載し自家発電するEV開発と導入の支援

## [その他]

- 医療・福祉・教育・観光・金融などでも再生可能及び再生資源の自給エネルギーの利用及びレジリエンス対応を進めて次世代の社会構造の企画。

## ◆地域の資源で地域内消費エネルギーを創出し運用

1. 燃料化事業・発電所事業・地域エネルギー供給事業で新事業の創出と既存事業の活性化による事業拡大及び雇用創出。さらに、当事業に対しては地域外からの投資を呼び込む。また、林業・農業・畜産・酪農・食品工場等での有機廃棄物の燃料化による産廃費削減し収益率を向上。また、廃棄物の燃料化による再資源化への意識を高め、様々な資源活用の事業の創出。廃棄物の減少により諏訪湖や八ヶ岳などの自然環境保護と生態系の保護が実現する。
2. エネルギー自給自足による社会基盤の自立。地域外の電気代金が高騰しても価格の影響を受けず地域に提供が可能。地域内で使いきれないエネルギーは他地域へ供給により資金流入を生み出す。地域内電源の自給自足により、災害、長期停電の防災減災対策が可能。電気自動車の電源も地域内資源の電力で自給、災害時も移動でき、目的地で電源供給が可能。木材資源の燃料化で山の間伐が進めば、山林の見通しが良くなることで獣害対策。
3. エネルギー自給自足によるライフスタイルのアップデート  
電気&熱エネルギーのライフライン供給による地域独自の高付加価値サービス提供。地域の燃料資源となる資源量をICT管理し、安定したエネルギー構築網を実現。エネルギー需給管理のシステム構築し、更に相互融通スマートグリッド網を構築。地域外でRE100を目指す企業や地域へのエネルギー供給を行い、所得流入を拡大する。エネルギー自給網の構築によるインフラ作りで地域外より民間投資を呼び込む。239億円(2015年)のエネルギー代金の流出ゼロ円、CO2排出ゼロへ地域のライフスタイルをアップデート

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

地域の再生可能エネルギー活用等による 地域経済への効果



エネルギーコストの流出（輸入）をストップ

URL <https://suwa-inv.jimdofree.com/>

上記ソリューションを提供できる地域について

全国

自者の特徴

地域の特徴を活かし自立できる循環共生圏づくりとして

- ・ 当団体が地域のプラットフォームとなり、包括的な取組みを行い、情報の集約と各分野との連携
- ・ 地域資源エネルギー化と再エネ及び再資源プラント導入のコンサル
- ・ 全国各地で活躍するそれぞれの分野の実践的な専門家の紹介
- ・ 事業実現に向けた協力事業者紹介のマッチング
- ・ 事業実現に向けた出資候補企業のコーディネート

これらを具体的に実現できる活動を推進しております。  
また地域循環共生圏の活動を進める他地域と情報交換も進め、検証&実証データやノウハウなどの発展にも努める事で、地域内外に貢献できる活動を進めております。

SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

地域のエネルギーを自給自足する事業に関して、法改正及び制度改正による対応の難しさに直面しております。